

宗像市議会

議長 神谷 建一 様

予算第1特別委員会

委員長 上野 崇之

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第73号議案 令和5年度宗像市一般会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ21億7,815万5千円を増額し、474億3,980万4千円とする。また、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 歳入の主なもの

- (1) 当初より増収が見込まれるため、市民税を5,000万円増額し、固定資産税を4,000万円増額する。
- (2) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を12億1,441万4千円増額し、物価高騰対策等の財源として活用する。
- (3) ふるさと寄附金を5,000万円増額し、財政調整基金繰入金を4億693万1千円増額する。

2 歳出の主なもの

- (1) 物価高騰対応に係る事業費の増額（12億1,750万4千円）

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源に、物価高騰対策として低所得世帯に給付金を給付するほか、福祉施設等に支援金や補助金を交付する。また、消費喚起策として、令和6年度にプレミアム付商品券を発行するための予算を計上し、全額を繰り越す。

 - ①物価高騰対応重点支援給付金給付事業費の計上（10億6,227万7千円）
 - ②高齢者施設等物価高騰対策支援金給付事業費の計上（1,479万9千円）
 - ③障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援金給付事業費の計上（124万7千円）
 - ④教育・保育施設型給付事業費のうち保育所等光熱費高騰対策補助金の計上（618万1千円）
 - ⑤中小事業者等支援事業費のうちプレミアム付商品券事業補助金の計上（1億3,300万円）
- (2) 子ども医療費の増額（6,410万円）

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も罹患者が多かったことや、インフルエンザやプール熱が流行したことにより、子ども医療費予算の不足が見込まれるため増額する。
- (3) 学校トイレ洋式化工事に係る事業費の増額（1億792万円）

東郷小学校及び中央中学校のトイレの洋式化工事のため、小学校施設改修事業費及び中学校施設改修事業費を増額する。

3 繰越明許費

年度内に事業の完了が見込めず、翌年度に予算を繰り越す必要がある7件を追加する。

4 債務負担行為

次年度以降に予算を必要とするものの、今年度中の契約などで、予算の担保が必要となる事項など43件を追加する。市立小学校体育館空調設備整備事業費及び市立中学校体育館空調設備整備事業費では、城山中学校を除く市立小中学校20校の体育館に空調を整備する。

5 地方債

今回の補正予算において実施する事業の財源として、地方債の借入を行うため5件を追加する。また、当初予定していた地方債の限度額を4件変更する。

【意見】

(賛成意見)

- ・小中学校体育館における空調整備については、物価高騰の時代背景をよく読み取って実施している点の評価する。物価高騰は市民生活に直接的な打撃を与えており、中間層、特に高齢者においてはその負担も大きいことから、市独自の対応も検討してほしい。
- ・令和5年7月の豪雨により、織幡神社裏ののり面が崩壊し、県指定文化財のイヌマキ天然林が毀損している。地元からも心配の声が上がっており、一刻も早い復旧を要望する。
- ・プレミアム付商品券発行等による地域経済を循環させるための施策を評価する。物品の調達等においても地場産業への発注が増えるような仕組みの改善を要望する。市民及び事業者に対する物価高騰対策事業については、より早い給付のために尽力してほしい。

(反対意見)

- ・人事院勧告による議員・三役の賞与の引上げについては、物価高騰の中で市民の理解が得られないと考える。物価高騰対策においては、国の物価高騰対応重点支援給付金と来年の定額減税の恩恵を受けられないはざま層の対策が重要であり、国からの予算措置を待たずに、本市独自の対策を行うよう要望する。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり可決した。